

ウンカ類情報第5号（水稻・トビイロウンカ）

令和4年9月2日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

県内複数地点の水田で継続してトビイロウンカが確認されています！

1 発生状況

8月下旬に実施した巡回調査において、**豊田市、岡崎市、新城市、豊川市及び豊橋市の水田でトビイロウンカ成虫及び幼虫が捕獲され、同時期に農総試内（長久手市）の水田で実施した調査において、トビイロウンカ幼虫が捕獲されました。また、長久手市及び豊川市に設置した予察灯においても新たに誘殺が確認されました（表1）。**

2 防除対策

トビイロウンカ（図1、図2）がほ場に定着している場合、**第三世代幼虫期に坪枯れが発生する可能性があります（図3、図4）**。防除対策は8月19日発表の「令和4年度病害虫発生予察注意報第5号」^{*1}を参照してください。防除適期である**幼虫発生時期については、日本植物防疫協会提供の飛来解析^{*2}で本県へ飛来したとされる6月22日、25日に本虫が飛来したと仮定して「第二世代及び第三世代幼虫発生時期の予測」を9月1日までの気温の実測値で新たに計算しましたので、こちらを参考にしてください（表2）**。坪枯れの初期症状が認められた場合やトビイロウンカの発生が確認された場合は速やかに防除しましょう（表3）。

なお、6月25日以降もトビイロウンカが本県に飛来している可能性がありますので、ほ場をよく観察し、ほ場内の発生状況を把握して防除しましょう。

トビイロウンカに有効な箱施用剤を使用した場合でも、薬効期間後に成虫が飛来している場合がありますので、注意しましょう。

^{*1} 「令和4年度病害虫発生予察注意報第5号」

: <https://www.pref.aichi.jp/uploaded/attachment/429462.pdf>

^{*2} データ提供元の不具合により6月26日以降の飛来解析ができない状況ですので、御留意ください。

表1 トビイロウンカの発生状況

本田調査				予察灯		
月日	調査地点	捕獲頭数	備考	月日	調査地点	誘殺頭数
8月9日	豊田市穂積町	1	長翅成虫	8月7日	大口町	1
8月10日	長久手市（農総試内）	1	長翅成虫	8月8日	豊川市御津町	3
	豊川市御津町	1	長翅成虫	8月13日	長久手市（農総試内）	1
8月16日	豊川市長沢町	1	長翅成虫	8月17日	豊川市御津町	1
	新城市吉川	1	長翅成虫			1
8月18日	岡崎市細光町	1	長翅成虫	8月19日	長久手市（農総試内）	1
	岡崎市中金町	1	長翅成虫		計	8
8月22日	豊田市黒田町	1	長翅成虫			
	新城市作手高里	1	長翅成虫			
8月23日	岡崎市桑谷町	1	長翅成虫			
	豊川市御津町	1	長翅成虫			
8月24日	豊橋市石巻町	3	幼虫			
8月30日	長久手市（農総試内）	2	幼虫			
	計	16				

表2 有効積算温度をもとに計算したトビイロウンカ第二世代及び第三世代幼虫期の予測（9月2日計算）

飛来 予測日	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎	新城	稲武	蒲郡	豊橋	伊良湖	
6月22日	第二世代幼虫期	8月19日 ～9月1日	8月14日 ～27日	8月16日 ～29日	8月18日 ～31日	8月20日 ～9月3日	8月17日 ～30日	8月19日 ～9月2日	8月24日 ～9月10日	8月16日 ～29日	8月13日 ～25日	8月13日 ～25日
	第三世代幼虫期	9月19日 ～10月9日	9月14日 ～10月2日	9月14日 ～9月30日	9月18日 ～10月5日	9月22日 ～10月14日	9月17日 ～10月6日	9月21日 ～10月12日	10月14日	9月15日 ～10月2日	9月11日 ～9月27日	9月11日 ～9月27日
6月25日	第二世代幼虫期	8月22日 ～9月4日	8月17日 ～30日	8月18日 ～31日	8月20日 ～9月2日	8月23日 ～9月6日	8月19日 ～9月1日	8月23日 ～9月6日	8月30日 ～9月18日	8月20日 ～9月2日	8月16日 ～29日	8月17日 ～30日
	第三世代幼虫期	9月23日 ～10月15日	9月17日 ～10月6日	9月17日 ～10月5日	9月20日 ～10月7日	9月25日 ～10月20日	9月19日 ～10月9日	9月25日 ～10月19日	-	9月20日 ～10月9日	9月15日 ～10月2日	9月16日 ～10月3日

日本植物防疫協会提供の飛来解析で本県へ飛来したとされる6月22日、25日に本虫が飛来したと仮定して計算。
各地のアメダスの毎正時平均気温から予測。

9月1日までは実測値を、それ以降は平年値を用いて計算。

表3 ウンカ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	本剤の使用回数	IRACコード
トレボン乳剤	収穫14日前まで	3回以内	3 A
MR. ジョーカーEW	収穫14日前まで	2回以内	3 A
スタークル液剤10	収穫7日前まで	3回以内	4 A
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	3回以内	4 C
エミリアフロアブル	収穫7日前まで	2回以内	4 F

成分ごとの総使用回数に注意する。

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細は、以下URLを参考にする

https://www.jcpa.or.jp/assets/file/labo/mechanism/2021/mechanism_irac03.pdf

薬剤の使用に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、

他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。



図1 トビイロウンカ成虫（長翅型）



図2 株元に群がるトビイロウンカ（成虫及び幼虫）



図3 坪枯れ（赤矢印）及び坪枯れの初期症状（青矢印塗り潰し）



図4 トビイロウンカによる坪枯れ